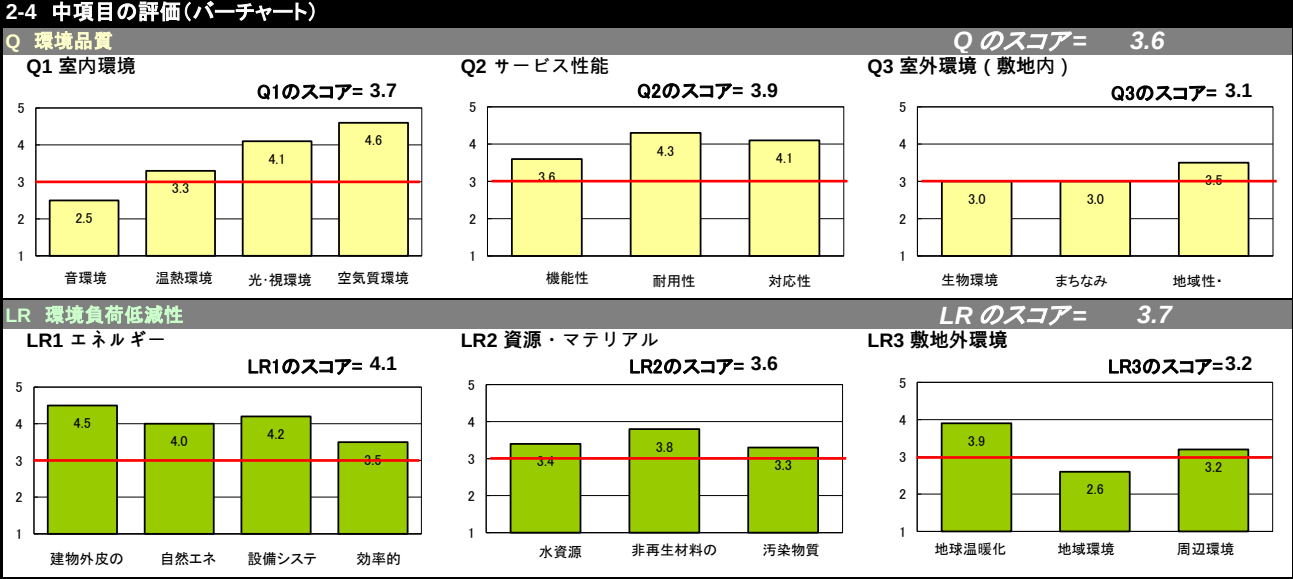
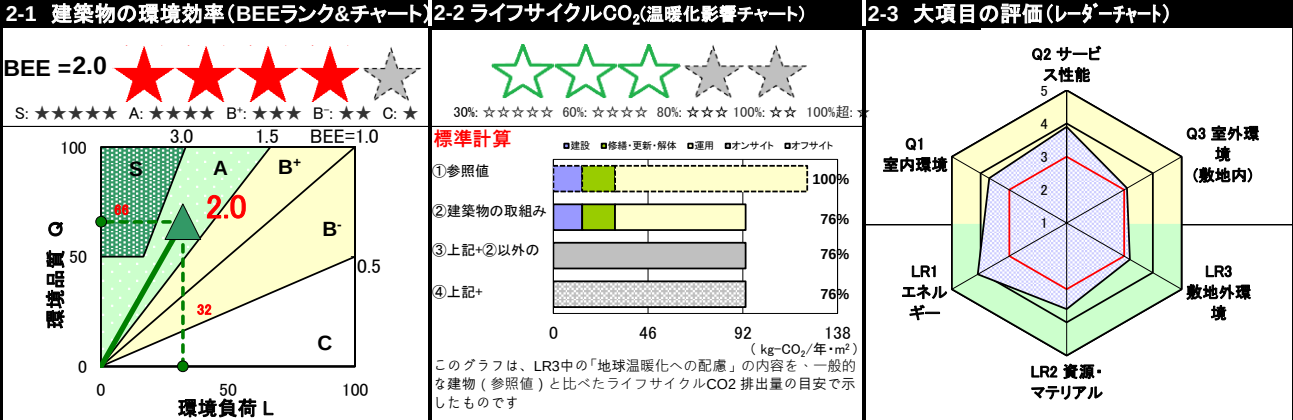


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ネクストサイト千葉ビル	階数	地上12F、地下1F
建設地	千葉県千葉市中央区富士見一丁目12番2 一部	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,400 人
地域区分	6地域	年間使用時間	- 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2024年8月 予定	評価の実施日	2024年7月23日
敷地面積	2,446 m ²	作成者	清水建設株式会社
建築面積	1,696 m ²	確認日	-
延床面積	19,335 m ²	確認者	-



3 設計上の配慮事項	
総合	その他
水平庇による熱負荷低減、ライトシェルフ、外気冷房、全熱交換器、高効率空調、照明制御によりBEI0.5以下達成を目標とし、省エネルギーに配慮した計画とした。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能
ほぼ全面的にF☆☆☆☆の材料を採用することと適切な換気計画とすることで、室内空気環境に配慮している。	耐用年数の長い材料や防汚性材等を採用し、建物の維持管理に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル
適切な外皮性能を確保すると共に、LED照明等による設備システムの効率化を計画することにより、エネルギー消費を低減させることに配慮している。	節水型器具を採用することにより、水資源の保護に配慮している。
	LR3 敷地外環境
	「光害対策ガイドライン」チェックリストを基に、光害抑制に配慮している。
	ライフサイクルCO ₂ 排出率が一般的な建物に対して削減しており、地球温暖化への配慮をしている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される